

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第53号
文責 校長 西村羊治
令和7年11月28日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

当たり前のことを当たり前に

右の写真は、そうじの時間です。校長室前から児童昇降口まで長い距離があります。私が1回雑巾がけをやったらたぶん足がガクガクになると思います。5年生の女の子は何往復もしています。「がんばってるね。きついでしょう？」と声をかけると「はい、きついです。」との返事。でも、毎日黙々とがんばっています。毎日使わせてもらっている学校を自分たちできれいにそうじするのは、当たり前のことです。この当たり前のことをきちんとやること、継続すること、きつくても当たり前のこととしてやり続けることはとても大切なことで、立派なことです。この様にそうじやあいさつをがんばっている子供たちがたくさんいます。こんなすばらしい子供たちに囲まれて、学校でお仕事ができる幸せを感じています。子供たちに感謝です。私も自分を振り返り、当たり前のことが当たり前にできているか再確認してみようと思います。



5年生の女の子

幸せを感じ

11月28日(金)の午後、火災避難訓練を行いました。非常ベルが鳴り子供たちは、放送を静かに聞き出火場所を確認し、担任の先生の指示で口にハンカチを当てて整然と避難します。私は避難場所の運動場で時間を計っていました。2分36秒08で集合確認が終了しました。3分はかかるだろうと思っていましたが、140人のみんな見事でした。必要のないおしゃべりもせず、命を守ることを考えた行動ができました。先日、大分県で家々が燃えてしまう大規模火災がありました。いつどこで何が起こるかわかりません。想定外のことを想定しなければならない状況です。新聞の中のこと、テレビの中のことでなく、自分事として捉え日頃から備えをしておくことが大切です。



消火器の訓練

模火災がありました。いつどこで何が起こるかわかりません。想定外のことを想定しなければならない状況です。新聞の中のこと、テレビの中のことでなく、自分事として捉え日頃から備えをしておくことが大切です。

ところで今回さらに嬉しいことがありました。避難訓練に来てくれた隊員の中に私が中学校勤務時代に担任をした教え子がありました。立派な消防隊員として市民の命を守る仕事をしっかりやってくれています。隊員の方は6名来られていたので、私が子供たちに、「どの方が校長先生の教え子でしょう」とクイズを出しました。その後、無茶ぶりで140人の子供たちの前で話をしてもらいました。消防隊員として立派な話をしてくれました。しっかりうなずきながら話を聞く三角小の子、消防隊員として立派な話をしてくれる教え子の姿を見ながら、幸せを感じていました。教師という職業を選び本当に良かったです。



消防隊員の方のお話



感想発表



隊員の方とのふれあい

で話をしてもらいました。消防隊員として立派な話をしてくれました。しっかりうなずきながら話を聞く三角小の子、消防隊員として立派な話をしてくれる教え子の姿を見ながら、幸せを感じていました。教師という職業を選び本当に良かったです。



消防車見学